



人権に関する方針

キャップジェミニ 人権に関する方針

内容

グループCEOからのメッセージ	3
私たちの約束	4
私たちのプログラム	9
ガバナンス	9
付録	10



グループCEOからのメッセージ

キャップジェミニは、「テクノロジーは人間によって、人間のために設計されるべきだ」という信念のもとに設立され、常に「人」の会社であり続けました。

キャップジェミニの人権方針は、当社が会社として、また社員一人ひとりを通して、人権を保護し支持し続けるための明確な枠組みを提供します。

各個人の自由を認めること、そしてそれが意味する他者への信頼は、人間の尊厳を尊重するための基本です。自由と信頼は世界人権宣言を支えるものであり、キャップジェミニの7つのコアバリューのうちの2つを構成しています。したがって、キャップジェミニは創業以来、人権を揺るぎなく尊重する傾向にあり、当社のエコシステムにおけるすべてのステークホルダーにプラスの影響を与えるという野心を達成するための前提条件であると考えています。

この強固な基盤の上に、私たちは、すべての人に利益をもたらすデジタルトランスフォーメーションの野望を実現し、包括的で持続可能な未来のために、テクノロジーによって人間のエネルギーを解放するという目的を果たしていくのです。

アイマン・エザット

キャップジェミニ・グループCEO

私たちの約束

国連グローバル・コンパクトに署名しているキャップジェミニは、[国連の世界人権宣言](#)、[国連ビジネスと人権に関する指導原則](#)、および国際労働機関の労働における基本的原則および権利に関する宣言（「[ILO宣言](#)」）とその8つの中核条約に従って、人権の保護と保全に取り組んでいます。

ピープルカンパニーとして、私たちの第一の義務は、従業員（正社員、派遣社員、フリーランサー、独立労働者、下請け企業の従業員、研修生）、サプライチェーン、顧客とのやりとり、そして事業を行う地域社会全体で人権を保護し、促進することです。私たちは、独自の協力的な働き方によって、エコシステム内のすべてのステークホルダーと信頼できる長期的な関係を育んでいます。

50カ国近い国々で事業を展開し、100を超える国籍の社員が働いている私たちは、もともと多文化で多様性に富んでいます。私たちは、社員が本来の自分らしさを発揮することを奨励し、一人ひとりの貢献がチームの力になるようにしています。安全で、公正で、オープンな職場環境を確保することで、才能ある社員が創造性を発揮し、自信を持って仕事に取り組むことができるのです。

私たちは、厳しい倫理基準を維持しながら、大胆に革新的なソリューションを提供し、お客様から信頼を得ています。私たちのサプライヤーは、私たちの[サプライヤー行動基準](#)に反映されているこれらの基準を満たすよう努力し、私たちの倫理的文化の恩恵を広めています。



また、地球と次世代への責任を意識し、環境への影響を最小限に抑えるよう行動し、私たちが存在する地域社会に積極的に貢献するよう働きかけています。

人権へのコミットメントによって培われた包括的な「[企業倫理規範](#)」とともに、当グループは適用されるすべての現地法を尊重し、その他の必要なポリシー（付録参照）を組織全体に適用しています。人権侵害やそのリスクに対処するため、従業員、サプライヤー、顧客が24時間365日アクセスできるグローバルヘルプライン「[Speakup](#)」を導入しています。これらの施策により、私たちは、ビジネス慣行のあらゆる領域で、倫理的にビジネスを行い、人権を尊重することを徹底しています。



以下は、倫理的なリーディングカンパニーとして、主要な人権問題への揺るぎないコミットメントを明確にしたものです。

機会均等と公正な処遇

自由という価値観のもと、他の文化や習慣に対する寛容さと尊重は不可欠です。私たちは、社会的、文化的、民族的、国家的出身、宗教的、その他の信条、カースト、性自認・表現、婚姻状況、妊娠状況、性的指向、障害、年齢、肌の色、人種、親の有無、政治思想、軍隊・退役軍人、労働組合活動などに関係なく、平等な機会や公正な処遇を提供することを目指します。すべての国の人事チームが、ダイバーシティ&インクルージョン・プログラムを導入しています。また、すべての差別禁止法の遵守に努めています。

私たちは、人々を違ったものにする要素が、革新力、創造力、パフォーマンスの源となっていると考えています。さまざまな人材を取り入れることで、私たちは異なる視点を獲得ことができ、それは急速に変化する世界において不可欠なものです。

表現の自由

私たちは、「自由」「チームスピリット」「信頼」というバリューのもと、表現の自由とオープンな対話の重要性を認識し、共に働くことを奨励しています。したがって、表現の自由の権利の認識は、当社の価値観と業務方法に深く根ざしています。キャップジェミニでは、コラボレーション、違いの尊重、そしてすべての社員が自分の考えや主張、意見を自由に表現し、チームミーティング、電話会議、フォーラム、社員調査において報復の恐れのないオープンな対話を行うことを奨励することに基づく、連携した企業家精神を信条としています。また、さまざまなテーマで定期的にパルス調査を実施し、匿名での率直な意見交換を呼びかけています。



結社と団体交渉の自由

表現の自由と開かれた対話を補完するものとして、結社の自由と団体交渉の権利があります。私たちは、従業員が国内法に従って労働組合を結成し、加入する権利を尊重し、団体交渉のためにそのような組織を承認しています。従業員は、現地の法律を尊重しながら、脅迫や報復を受ける心配なく、また、所在国に関係なく、その権利を行使することができます。私たちは、すべての従業員が協議と対話に応じることができるようにします。

グループレベルでは、従業員代表またはその他の従業員代表団体とグループ経営陣との対話と協議を促進するために、国際従業員代表評議会(IWC)と呼ばれる国際的な代表団体があります。

ハラスメントのない職場

私たちは、ハラスメントや暴力、あるいは職場に脅威を与えるような行為のない職場環境を維持することに尽力しています。社員は、同僚間、上司とチームメンバー間の個人的・文化的差異に留意し、尊重することが期待されています。これにより、誰もがユニークで本物の自分として貢献でき、職場や仕事関連のイベントで快適な雰囲気を楽しむことができます。

[SpeakUpヘルプライン](#)は、プロらしくない行動やハラスメントに直面した場合、すべての従業員が24時間365日利用できるようになっています。

安全で健康的な職場

私たちは、自社工場やお客様の工場働く従業員の健康と安全を守ることをお約束します。

当社グループは、安全衛生の責任を非常に重視しており、この点に関するすべての関連法規と緊急時対応策の遵守に努めています。お客様の現場で作業する場合、従業員は安全衛生や緊急時の対応に関するお客様のルールを守り、協力することが求められています。また、出張時には、従業員が遵守すべき具体的なガイドラインを定めています。

児童労働、強制労働、人身売買からの保護

キャップジェミニは、事業のいかなる部分においても未成年者や児童を雇用せず、サプライヤーやクライアントがそのサプライチェーンや事業運営においていかなる形でも児童労働を行わないように努めています。



キャップジェミニは、強制労働、債務労働、または義務労働を使用せず、すべての従業員は、合理的な通知を行うことにより、いつでも自由にその雇用を終了することができます。

従業員は、雇用の確保を目的として、雇用前または雇用期間中にキャップジェミニに預金または金銭を預ける必要はありません。

私たちは、倫理的なリーディングカンパニーとして、従業員に過度な負担をかけないよう、適正な労働時間を維持しています。私たちは、従業員が休息する権利を認めます。私たちは、事業を展開しているすべての国の労働法を遵守し、少なくともその国で定められた休暇を従業員に認めています。私たちは、従業員が仕事と私生活のバランスをとる方法を自由に選択できるよう、フレキシブルな働き方を推進します。

私たちの協力的な経営スタイルは、社員と顧客にとって妥当な事業目標を設定することを保証します。また、従業員に対しては、その貢献度合いに応じて公正な報酬を支払うことを徹底しています。

データプライバシー

キャップジェミニは、従業員、顧客、サプライヤー、およびその他のビジネスパートナーや協働する個人に託されたすべての個人データの保護に取り組んでいます。なぜなら、データプライバシーを確保する

ことは、データが関連する個人の基本的な権利と自由を保護することにもつながるからです。

キャップジェミニは、適用されるデータ保護法を遵守し、個人データの処理に際して最高水準の基準を適用することに努めています。特に、キャップジェミニは、実施する処理活動がすべてのデータ保護の原則を包含していることを確認するために、プライバシー・バイ・デザインの重要性を重視しています。これらのコミットメントを実現するために、キャップジェミニは包括的なデータ保護プログラムおよび関連するポリシー、プロセス、ガイドラインを導入しています。

教育を受ける権利

キャップジェミニでは、学習がチームメンバーの成長に重要な役割を果たすと考え、すべての人材に継続的な学習を支援しています。

当社は学習と能力開発に投資しており、従業員がキャップジェミニで過ごす間だけでなく、将来に備えて従業員のニーズに合った学習経路を構築しています。当社のラーニングポータルでは、多くの異なるトレーニングコースを提供しており、社員は各自のラーニングジャーニーを完全にカスタマイズし、最適化できるようになっています。

私たちは、学習することを文化や日々の仕事の中に組み込み、提供される学習体験がハードスキルからソフトスキルに至るまで、ユニークなものになるように努めています。



デジタルインクルージョン

私たちは、CSR戦略の柱である「デジタル・インクルージョン」を通じて、事業を展開する地域社会全体の恵まれない人々に、デジタルに関する質の高い教育を提供することに取り組んでいます。私たちの目標は、世界中の社会的・デジタル的に排除された人々が、以下の方法で排除を克服できるようにすることです。

- I. 基本的なデジタルリテラシーのスキルを提供し、デジタル自治への第一歩を踏み出す力を与え、そして
- II. 大学へ行く機会のない人や、長期失業中の人に、IT専門コースのトレーニングを提供し、就職して新しい仕事の世界に溶け込めるようにします。

AIソリューションの倫理的アプローチによる人権保護

キャップジェミニは、ビジネスにおける人工知能（AI）の活用によって、基本的人権が損なわれることがあってはならないと考えています。そのため、私

たちが設計するAIソリューションの中核には、人間中心主義が据えられています。

私たちは、AIソリューションが人間に与える影響に配慮しながら、その意図する目的を大切にします。私たちは、普遍的な基本的権利、原則、価値観、特に国連の世界人権宣言と国連グローバル・コンパクトを尊重します。私たちは、人間の生活を向上させるAIソリューションを構築することを目指し、いかなる形でも既存の被害を悪化させたり、個人のために新たな被害を生じさせたりしないようにします。キャップジェミニは、AIソリューションに取り組むすべてのチームが多様で包括的であるように努めています。

また、これらの原則をAIシステムのライフサイクルに組み込むことを徹底しています。

私たちのAIソリューションが人間中心であることを保証するために、私たちはAIソリューションの構想、設計、構築の方法の中核に人権を据えた専用の「[AI用倫理規定](#)」を設けています。

私たちのプログラム

キャップジェミニでは、上記の権利と基準を確実に守り尊重するために、必要なポリシー、プロセス、ガイドラインを組織全体に組み込んでいます。

私たちは、従業員の人権意識を高めるために、いくつかの必須トレーニングプログラムを用意しています。また、社内専用のハブ、ニュースレター、トレーニング教材などを通じて、定期的に従業員と関わり、倫理や人権に関するトピックを教育しています。

私たちは、従業員、サプライヤー、顧客が非倫理的行為に関する懸念や疑問を提起できるよう、既存の苦情処理メカニズムやプロセスについてグループ全体で幅広くコミュニケーションをとっています。私たちは、誠実に報告するすべての人を保護し、報復の恐れを感じることなく懸念を表明できるようにします。私たちは、必要なすべての機密保持の手段を講じることを保証します。



そのためにグループ全体で導入しているグローバルヘルプラインが、24時間365日ウェブと電話による報告・事故管理ツール「[Speakup](#)」です。

私たちは、プログラムを継続的に改善することを目的に、定期的にアプローチを見直します。

ガバナンス

キャップジェミニの人権方針に対するコミットメントの最終的な責任は、キャップジェミニ取締役会の倫理・ガバナンス委員会の監視のもと、グループCEOが負います。ポリシーの実施責任は、グループ全体の業務および機能リーダーにあり、最高倫理責任者と各国の倫理・コンプライアンス担当者が推進する実施プログラムによって支えられています。私たちは、国際基準やここに記載されているように、人権の尊重と履行を確保するために、日々の業務に人権を組み込むために協力しています。



(APPENDIX) 付録

倫理・ガバナンス委員会憲章

https://www.capgemini.com/wp-content/uploads/2020/09/Charter-Ethics-Governance-Committee_CGSE_02.09.2020.pdf

企業倫理綱領

https://prod.ucwe.capgemini.com/wp-content/uploads/2022/06/Capgemini-CBE_2022_Japanese-v3.3.pdf

AIに関する倫理規程

https://www.capgemini.com/wp-content/uploads/2021/03/Capgemini_Code_of_Ethics_for_AI_2021_EN.pdf

データプライバシー

<https://www.capgemini.com/resources/capgemini-binding-corporate-rules/>

CSR戦略

<https://www.capgemini.com/our-company/our-corporate-social-responsibility-program/>

SpeakUp・ヘルプライン

<https://app.convercent.com/en-us/LandingPage/21bd0129-fee2-e611-80d9-000d3ab1117e>

SpeakUpポリシー

https://www.capgemini.com/wp-content/uploads/2022/01/Capgemini_SpeakUpPolicy_Japanese.pdf

サプライヤー行動基準

https://www.capgemini.com/wp-content/uploads/2020/03/Capgemini_Supplier_Standards_of_Conduct.pdf

Modern Slavery Statement (現代奴隷制度に関する透明性声明)

オーストラリア: <https://www.capgemini.com/au-en/modern-slavery-act-statement/>

英国: <https://www.capgemini.com/gb-en/modern-slavery-transparency-statement/>

HUMAN RIGHTS POLICY

キャップジェミニ

エトワール広場 - 11, rue de Tilsitt
75017 PARIS - フランス

この文書に含まれる情報は、所有権に基づくものです。著作権 ©2022 Capgemini.
無断転載を禁じます。 Photo credits: page 1: ©PeopleImages (Getty Images); page 3: ©Capgemini;
page 4: ©monkeybusinessimages (Getty Images); page 6: ©Capgemini; page 7: © xavierarnau
(Getty Images); page 8: ©Capgemini; page 9: ©Rawpixel.com (Shutterstock), ©Capgemini.
グラフィックデザイン。 Avant Midi. 2022年6月 - バージョン1.3 - JP



キャップジェミニについて

キャップジェミニは、テクノロジーの力を活用し、企業のビジネスを変革し、管理するためのパートナーとして、世界をリードしています。当グループは、包括的で持続可能な未来のために、テクノロジーによって人間のエネルギーを解放するという目的に基づき、日々活動しています。50カ国以上、35万人以上のチームメンバーからなる、責任感のある多様な組織です。55年の強固な伝統と深い業界専門知識を持つキャップジェミニは、クラウド、データ、AI、コネクティビティ、ソフトウェア、デジタルエンジニアリング、プラットフォームの急速に進化する革新的な世界を燃料に、戦略・設計から運用まで、お客様のビジネスニーズの全範囲に対処することでお客様から信頼を得ています。グループは、2021年に180億ユーロの世界売上高を計上しました。

望む未来を手に入れる | www.capgemini.com